

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

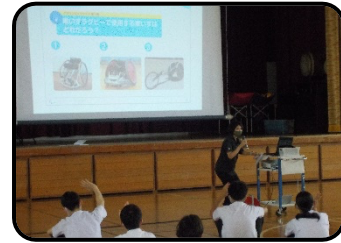
道府県・政令市名【 愛媛県 】

学校名【 松山市立東中学校 】

1 実践テーマ	① ・ ② ・ ③ ・ ④ ・ ⑤ （複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	中学3年生・3クラス・82名
3 展開の形式	学校における活動 教科名（ 総合的な学習の時間 ）
4 目 標 （ねらい）	パラリンピックで行われている競技や出場している人の生き方を知ることにより、他国の文化を理解し、多様性を尊重する態度を身に付ける。また、学んだことを他に伝え、広めることでインクルーシブな社会(共生社会)の構築を目指す。
5 取組内容	<p>【事前指導】 <u><インクルーシブな社会を考える></u> 「福祉」＝「みんながしあわせ」をテーマに総合的な学習の時間の中で様々な視点から共生社会を考える。</p> <div data-bbox="976 1303 1334 1514" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ① 聴覚障がいの視点から ② 視覚障がいの視点から ③ 身体障がい（パラスポーツ）の視点から <div data-bbox="526 1639 986 1845" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="526 1895 995 2101" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1024 1648 1321 2096" data-label="Image"> </div>

<パラリンピックについて学ぶ>

「I'm POSSIBLE」のスライドをもとに、クイズ形式で、パラリンピックの意義、パラスポーツの種目や使用されている道具について学習した。



<モザンビークについて学ぶ>

2020 東京パラリンピックに出場されたモザンビーク陸上選手団を招いて交流会を行うためにモザンビークの歴史や地理、文化を学習した。



【パラリンピアンから学ぼう】

日時：令和3年9月8日（水）8：45～10：15

講師：2020 東京パラリンピックに出場されたモザンビーク陸上選手団

団長 Luis Rodr í guez de Vera Mouliaa 様
(ルイス・ロドリゲス)

選手 Edmilsa Luciano Governo 様
(エドミルサ ゴベルノ)
T13（視覚障がい）女子 100m、400m出場

Hil á rio Xavier Chavela 様
(イラーリオ・シャベラ)
T13（視覚障がい）男子 400m、走幅跳出場

内容：①講演会

- ・パラリンピックに出場して
- ・パラ陸上を始めたきっかけ
- ・今後の目標

②実演

- ・ウォーミングアップの行い方
- ・50m走チャレンジ



6 主な成果

モザンビークの選手たちの前向きな明るい気持ちに触れたり、目の前でパラリンピック選手の走りを見たりすることで、障がい者に対して自分たちが知らぬ間に抱いていた「〇〇してあげないといけない」といった先入観に気づけた様子であった。今回の交

	<p>交流会を行うことで、自分たちが考えていた「共生社会」を考え直すよい機会となった。</p> <p>生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「障がいがあってもそれを全く負い目に感じてなくて、自分に自信を持っているような印象を受けました。また、周囲の人たちへの感謝も感じられたので、アスリートとしての強さだけでなく、人としてもすごいと思いました。」 ○ 「パラリンピック選手というので僕らとは全然違う人だと思っていましたが、言葉や肌の色が違うだけでした。そして、僕よりも足が速く予想外でした。授業でも学びましたが、障がい者というだけで何も変わらないことを改めて感じる事ができました。」
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツを始め、様々な視点から共生社会を考えた。交流会では学習したことを生かす場として、選手の誘導等を視覚障がいについて学習してきたグループが行った。 ○ オリンピック・パラリンピックの意義について学習を行った上で、交流会を行った。
<p>8主な課題等</p>	<p>他教科との関連を図り、年間計画に位置付けると、継続的、横断的指導が可能となり、より効果が期待できる。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>機会があれば、オリンピック・パラリンピックにかかわる授業や講演会などを実施したい。</p>